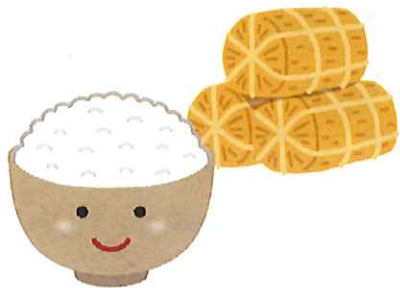


福島から・福祉から
福祉（島）米という 今と未来への思いの具体的な連携の形



米からはじまる 共に豊かに生きられる 街づくり



(一社) ミレッドロード・多摩防水技研(株)・

福祉米で三方良し

福祉米の販売を通じた多様な連携

福島復興に貢献し
福祉事業所の仕事にやりがいを作り
災害に強い地域を作り社会貢献



地域社会・街

福祉米で三方良し

ポジティブな連携を作り
互いの多様性を認めながら
やりがいのある人の輪づくり。



福祉事業所・利用者



福祉米



福島の米農家

福祉事業所



利用者がなかなか増えない
平均工賃が上がらない
ちょうど良い作業が見つからない
周りにも愛される作業所にしたい。

利用者さんが、生き生きやれる仕事
が欲しい。短時間でもいい。

多様な仕事・業務があって選べると
良いのに。

職員も楽しくやれると、笑顔が満ち
た職場になるのに。



福祉米

福祉米で
橋を架ける



仕事を増やすきっかけに
精米、袋詰め、配達
運び屋
椎茸やカット野菜も

人の輪が広がることで、もっともっと
仕事も増えていきそう。

やりやすい作業だから
利用者が集まる

一つの職種じゃなくて、いろいろやって
自分に向けた仕事に出会った。うれしい



工賃も徐々に
上げられる

スキルアップでやりがいがある
工賃もアップできてうれしい

美味しいお米！楽しい職場！

いろんな人に出会え、気の合う仲間が
一緒に釣りやキャンプで福島ツアー

福島の米農家



かつて一等米だったが、東日本大震災による風評被害で、業務米として一括りにされてしまい、頑張っても美味しい米を作っても高く売れない。

利益が出なければ若者は出ていく。福島の復興に心を寄せてくれる人はいないのだろうか？

若者は皆、学校を出たら都会へ行く年よりだけが残され、土地が遊び草に。

福島は過疎化に。農福連携で交流し、もっと多くの人々に福島に来てくれば。福島の魅力を知ってもらうチャンスが欲しい。魅力を感じ、若い人が定着するかも。



福祉米

福祉米で
橋を架ける

一等米として扱ってもらい、作り甲斐のある農作業に励みたい。若い人のやりがい作りができる。

もう福島のお米は大丈夫。風評被害の克服



美味しいお米を
食べて欲しい

他地域が米と福祉で、福島を応援してくれる環境づくりが進みそう

お米作りの副産物もありますよ。

お米作りで出たもみ殻からモミガライトという燃料棒市場に出せない野菜・果実



過疎化する福島の農業を盛り立てる。福祉関係でたくさんの人に来て欲しい

地域社会・街：災害発生時にも安心できる福祉拠点を！

地域のコミュにケーションセンターになり、地域に喜ばれる場所づくりを。

福祉事業所が来ると困る。

環境が悪くなり、地域の評価が下がる。

日本は震災大国。インフラが途絶えた非常時に、防災対策で食料備蓄がいる。

食事や暖を取るストーブがほしい。
飲める水・トイレ・お風呂、どうする
スマホ用の電源はどこで補填？

行政のネットワークだけでは心もとない。助け合いのシステムた欲しい

地域全体で高齢化が進んでいる。
このままでは、食事をとり続けるの
さえままならなくなる。

連れ合いが亡くなり、どうして暮ら
していったらいいのか？会話し一緒
に過ごす仲間が欲しい。



福祉米

福祉米で
橋を架ける

福祉事業所が米を備蓄しながら活動

モミガライト燃料と
ストボも備蓄可

災害発生時に
食とエネルギーの
防災拠点に

福祉事業所が地域に
歓迎され広がって
いく下地になる



いざという時に、頼りになる福祉事業所が身近に欲しい。
普段からの、信頼できる人間関係がベース。

- ①備蓄食料があって。
- ②水が確保（雨水・井戸利用システムがあり）されて。
- ③煮炊きできる備蓄燃料とストーブ（設備）があって。
- ④発電設備（太陽光発電・蓄電）があればスマホも。
- ⑤普段から話し合い、日常での必需品のストック

防災拠点になる福祉事業所が
地域に歓迎され必須の場所として意識され
フェーズフリーの運動として広げていきたい。

福祉米で
橋を架ける



福祉米

より良い未来へ:アイ(愛)
ディア(大切な)を寄せ合おう

地域社会・街：震災等でインフラが停止した地域社会対応

非常時における望ましい福祉拠点を形に。
日常の暮らし方に、フェーズフリーの福祉の未来を取り込む。

お米を食べることで、脱炭素に貢献・福祉・連携へ。
なんかいいと思わない? どうせお米を食べるなら、おなかも心も幸せに。
美味しく食べて、心も暮らしも、フェーズフリーの助け合う未来へ

B型事業所として様々な
仕事生まれる。

高齢者が働ける多様な
仕事生まれる

システム化することで
地域災害対策の具体化に

普段からの防災意識革命
地域の繋がりが生まれ、
自助・共助・公助の精神
整備し、育てる意識改革



愛の①：福祉事業所が備蓄米や非常時燃料の保管委託契約を。
3年間契約⇒経過後は子供食堂などの運用を具体化する。

愛の②：具体的連携(契約)を作ることで、互いに関心と交流が
生まれ、次のより良い連携を模索する基盤づくりを目指す。

愛の③：人のネットワークを豊かに活用。多様な仕事を作る。
働き方改革：年金生活も豊かに。空いた時間を楽しく使い収入を。

脱炭素も、災害に強い街づくり対策も同時に実行するという考え方

脱炭素へ。施設園芸野菜は燃油代がいっぱい。再生可能エネルギーの例えばモミガライトを使えば、燃油代はゼロに。重油を使った野菜より、再生可能エネルギーで作った野菜を食べる生活スタイルへ。

平成28年6月 農林水産省データー 重油価格62円/L(H28.4月)⇒現在100円/L:B重油) ⇒1.6倍 20231222

- 施設園芸の経営費は、水稻などの土地利用型作物と比べて高く、また経営費に占める燃料費の割合は、漁業と同等に極めて高い。
- 燃油価格は、地政学上のリスクや為替、国際的な商品市況の影響により、高騰や乱高下を繰り返しており、今後の価格の見通しを立てることが困難な生産資材である。

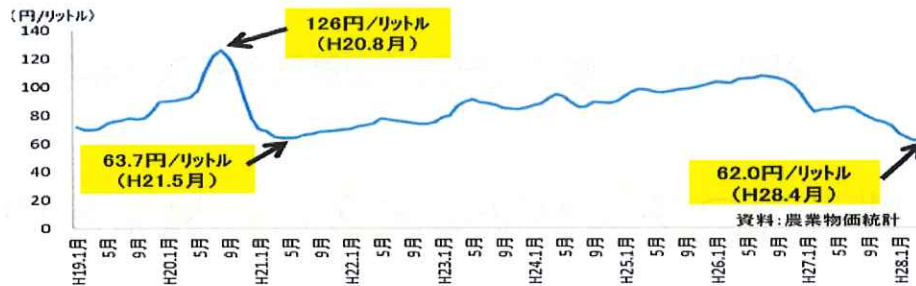
○施設園芸と水田作の農業経営費の比較

(単位:千円/10a)

	農業経営費	粗収益	農業所得
ピーマン	2,869	4,490	1,621
ばら	2,848	3,307	459
マンゴー	3,428	8,839	5,411
水田作	89	101	12

資料:平成26年 個別経営の営農類型別経営統計、マンゴーについては聞き取り

○農業用A重油価格の推移



○農業経営費に占める燃料費の割合

農業	ピーマン	29%
	ばら	33%
	マンゴー	44%
	茶(加工)	27%
漁業	いか釣(沿岸)	33%
他産業	タクシー	8%
	トラック	5%

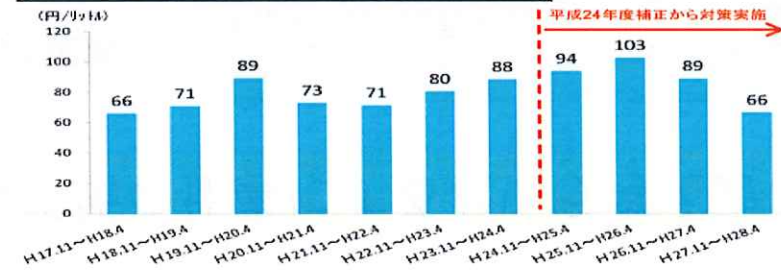
農業:平成26年 個別経営の営農類型別経営統計から燃料費の割合を推計。

マンゴーについては産地聞き取り。

漁業:平成25年漁業経営調査報告による。

他産業:タクシー、トラックについては自動車運送事業経営指標による。

○施設園芸の加温期間におけるA重油平均価格



備蓄食料を自分達で確保することを福祉事業所の仕事にするという考え方

焼け焦げた「輪島朝市」に冷たい雨 「食べ物どこに」食料不足深刻化

1/3(水) 19:30 配信 1057



朝日新聞
DIGITAL



早朝から朝市通りを歩いていた女性(45)は、通りでスーパーを経営していた。地震後、初めてお店を見に来たという。元日は店を閉め、自宅でゆっくりしていたときに、地震が起きたという。焼け焦げた町並みをみて「まるで映画の戦場のよう。本当にこれからどうするのか」と話した=2024年1月3日午前6時56分、石川県輪島市、小林一茂撮影

地震から3日目の早朝。200棟以上が焼けた石川県輪島市河井町の「輪島朝市」では、冷たい雨の中、まだ火がくすぶり続けていた。

【写真】物資が足りない…自衛隊基地に多くの人がつめかけた

朝市通りを歩いていた女性は、通りでスーパーを営んでいた。焼け焦げた街並みをみて「まるで映画の戦場のよう。本当にこれからどうするのか」と話した。

能登半島地震の被災地では、早くも食料や物資不足が深刻化している。

※ 福祉米プロジェクトは、志ある方がたから、備蓄米としてのお米と燃料等の代金を預かり、保管・配送・運営を自分達の仕事にすることを計画しております。

※ 食堂や弁当作りを仕事にする作業所にて、使用する予定の倍の量をストックします。玄米で低温貯蔵し、必要な分を精米します。この為、常に一定の食料を保管できます。精米やお米等を届けることも、B型作業所の仕事になります。新しい障がい者の作業づくりでもあります。

※ 農家と連携することで、規格外の野菜が安く利用できます。レトルト食品製造なども福祉作業の一環で行い、皆様に届けることができます。

※ このように福祉米は、非常時に備えた安全システムの構築に役立つだけでなく、高齢者や障がい者やハンディを持つ方の具体的な仕事と生活を作る運動です。

備蓄燃料の確保も自分達で、生活の一部しておくにするという考え方



令和6年能登半島地震

復旧阻む雪、冷え込む被災地で「低体温症」に注意 七尾で-2.4℃ 輪島の最高気温は3.2℃ 専門家は「深部体温が35℃以下になると激しい震え、シバリングが起きる」【効果的な加温・保温は？】

MBSニュース 405

冷え込む地震の被災地。1月8日朝の石川県の最低気温は、七尾市で今季最低の-2.4℃と最も寒い時期を下回りました。輪島市三井で-2.1℃、珠洲市で-0.2℃、志賀町で0℃などを記録しました。8日の日中の最高気温は、輪島市輪島で3.2℃、珠洲で3.6℃と、ほとんど気温は上昇しませんでした。また、9日の最低気温は輪島で1℃と予想されていて、厳しい寒さが続きます。

※ 福祉米プロジェクトは、志ある方がたから、備蓄米としてのお米と燃料等の代金を預かり、保管・配送・運営を自分達の仕事にすることを計画しております。

※ まだ検討中の段階ですが、できれば消防庁などの公的機関に認知された簡易ストーブの作成を考えています。その作成も民間企業の支援を得て、B型作業所の仕事や、学習刑に変わった刑務所などの受刑者のとトレーニングを兼ねた仕事づくりになることを願います。多くの方が連携して取り組むことに意義があります。

※ このように福祉米プロジェクトは、災害に備えた安全システムの構築に役立つだけでなく、高齢者や障がい者・課題を抱えた人々の具体的な仕事と生活とやりがいを作る運動です。

備蓄燃料の確保も自分達で、生活の一部しておくにという考え方

災害は突然来ます。備蓄米や燃料・水・電源・ストーブ等、災害に備えた暮らし方が問われています。日常の生活に、災害時に備えた機能を持たせるフェーズフリーの暮らし方が、当たり前になる時代が来ています。

(下の写真は、災害用備蓄コンロを販売している山縣建設さんのHPの動画の一部です。多くの組織と連携を探りながら進めたいと思います)

農福工（できれば司法連携も）連携で、新しいB型作業所の可能性を探ります。

まずは、福祉米からスタートし、実践を通じ新しい福祉作業所の在り方を考えていきます。



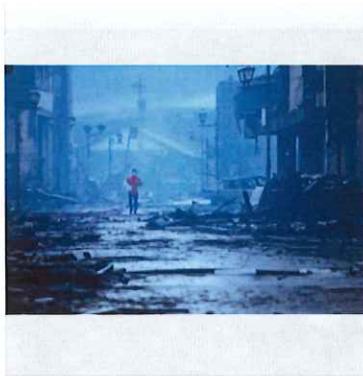
備蓄食料を自分達で確保し、管理運営を福祉事業所の仕事にするという考え方

焼け焦げた「輪島朝市」に冷たい雨 「食べ物どこに」食料不足深刻化

1/3(水) 19:30 配信 1057



朝日新聞
DIGITAL



早朝から朝市通りを歩いていた女性(45)は、通りでスーパーを経営していた。地震後、初めてお店を見に来たという。元日は店を閉め、自宅でゆっくりしていたときに、地震が起きたという。焼け焦げた町並みをみて「まるで映画の戦場のよう。本当にこれからどうするのか」と話した=2024年1月3日午前6時56分、石川県輪島市、小林一茂撮影

地震から3日目の早朝。200棟以上が焼けた石川県輪島市河井町の「輪島朝市」では、冷たい雨の中、まだ火がくすぶり続けていた。

【写真】物資が足りない…自衛隊基地に多くの人がつめかけた

朝市通りを歩いていた女性は、通りでスーパーを営んでいた。焼け焦げた街並みをみて「まるで映画の戦場のよう。本当にこれからどうするのか」と話した。

能登半島地震の被災地では、早くも食料や物資不足が深刻化している。

※ 福祉米プロジェクトは、志ある方がたから、備蓄米としてのお米と燃料等の代金を預かり、保管・配送・運営を自分達の仕事にすることを計画しております。

※ 食堂や弁当作りを仕事にする作業所にて、使用する予定の倍の量をストックします。玄米を低温貯蔵し、必要な分を精米し利用します。この為、常に一定の食料を保管できます。精米やお米等を届けることも、B型作業所の仕事になります。新しい障がい者の作業づくりでもあります。

※ 農家と連携することで、規格外の野菜が安く利用できます。レトルト食品製造なども福祉作業の一環で行い、皆様に届けることができます。

※ このように福祉米は、非常時に備えた安全システムの構築に役立つだけでなく、高齢者や障がい者や課題を抱えた方がたの具体的な仕事と生活やりがいを作る運動です。

普段からの貯水と雨水と井戸の利用を具体的に考え、形にする

主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ | 地域



雪食べてしのぐ 地震断水9.5万戸 1/4(木) 0:43

毎日新聞

令和6年能登半島地震

断水、9.5万戸 輪島・珠洲・能登のほぼ全域で水道管損傷

毎日新聞 626 🗨️ 😊 😐 😞 😡

能登半島を襲った地震の被災地では3日、行方不明者の捜索が続いた。4日夕で発生から72時間。これを過ぎると被災者の生存率が大幅に低下するとされている。降雨と強い揺れの中で救出活動が続くとともに、避難者からはライフラインの復旧を求める声が相次いでいる。

健康福祉部の職員によると、その多くが市に飲み水などの提供を求める内容だったという。市内の小学校に避難している住民からは「水がないので、雪を食べてしのいでいる」と窮状を訴える声も届いた。

高齢者や障害者ら60人以上が身を寄せる同市の福祉避難所も、断水に頭を悩ませる。男性職員によると、事務所にあったウーロン茶やジュースで備蓄米を炊いているという。「近所の人が米を持ってきてくれるが、生米を食べるわけにもいかず、今日の晩ご飯をどうしようかというところだ。トイレが不衛生なのも困っている」と嘆く

備蓄食料・水・トイレ・電源・燃料のある非常時の避難所を、福祉作業所やグループホームで運営し、災害時に備える生活空間をつくることを自分達の暮らしの一部にという考え方

この福祉施設があることが地域の安心と誇りです

太陽光発電・雨水・井戸水

食堂・ストーブ・お米

自助・共助・公助センター

日頃から地域の日常に溶け込む

いざという時、大事なものは人の輪

※ 今回の地震は、南海トラフの予兆的現象という方がいます。関東大震災もいつ起きてもおかしくない現状です。

※ あらかじめ備えること。日常の暮らしに、災害に対し備える生活スタイルをフェーズフリーと呼ぶそうです。

※ 農家や産地企業と連携し、備蓄食料の確保を目指します。お米と同時に、規格外の野菜が安く利用できます。レトルト食品なども福祉作業の一環で作る計画も進行中です。作業所の仕事として、お米を精米し、皆様に届けることができます。

※ このように福祉米プロジェクトは、非常時に備えた安全システムの構築に役立つだけでなく、高齢者や障害者の具体的な仕事と生活を作る運動です。

温室の暖房エネルギーを化石燃料ゼロ社会へ

革新的な「キーホールガーデン」が難民の栄養改善の一翼を担う：化学肥料に頼ることなく生態系を考えた、循環型の仕組みづくりを考える時代へ。



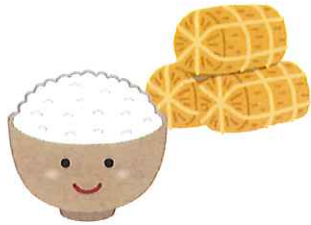
- モミガライトやチップ化した木材、一定温度の地下水利用等の組み合わせによる、化石燃料ゼロの施設農業の組み立てを目指しましょう。
- 温暖化により、今まで形での果樹や野菜の栽培は厳しくなっています。破棄される断熱材や新しい技術による、栽培方法を真剣に検討する時代になりました。
- 今までの価値観を見直し、ハンディのある人でもチャレンジできる仕組みを考えます。

キーホールガーデンは、過酷な暑さでも1年中食料となく5種類の野菜を育てることができる。1度に少しづつ水をまき、1週間ほどで収穫できる。8人家族が食べる分の作物がとれます。

キーホールガーデンは、家庭菜園の材料、土や肥料は必要ありません。中央の穴に水をまき、周囲の野菜が水を吸い上げます。肥料は土中の微生物が分解し、野菜に吸収されます。

キーホールガーデンは、家庭菜園の材料、土や肥料は必要ありません。中央の穴に水をまき、周囲の野菜が水を吸い上げます。肥料は土中の微生物が分解し、野菜に吸収されます。

都市型の農・福・工連携プロジェクト



福祉米でより安心の未来を創ろう

- 1** 貧困をなくそう

- 2** 飢餓をゼロに

- 3** すべての人に健康と福祉を




三社連携



八王子市・東京都連携



日本全国津々浦々
連携祭り

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	8 働きがいも 経済成長も 	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 	10 人や国の不平等 をなくそう 	11 住み続けられる まちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
13 気候変動に 具体的な対策を 	14 海の豊かさを 守ろう 	15 陸の豊かさも 守ろう 	16 平和と公正を すべての人に 	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて 世界が抱えた 「持続可能な開発目標」です

